

12月度座談会

阿仏房御前御返事

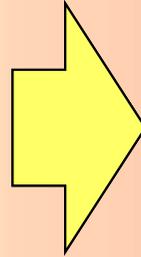
* * 地区

背景と大意

- 建治元年：54歳：在身延
- 対告衆：千日尼（阿仏房の妻）
- 佐渡流罪中に入信・弘教に励む
- 謗法の罪への質問に答える
- 法華経を説く人には難がある
- 「如説修行」の信心を御教授

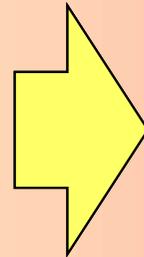
難は必然

信心に励む



道理を語る
折伏

男女僧尼
世間の人々

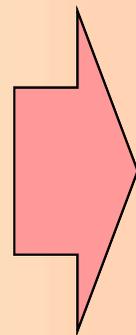


必ず憎む
難がある

末法の衆生は無明
迫害があるのは承知の上

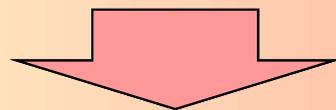
よしくまばにくめ

迫害は
承知の上



民衆救済
の大慈悲

釈迦・天台・妙楽・伝教・章安
正師の教えを実践



如説修行の人である

如説修行

創価の師弟は
世界に広布推進



如説修行
の實踐

悪口罵詈は最高の名譽
難はすべて功德に変わる

仏法を語る勇者に恐れなし
「如説修行」の誇りを胸に

指導から

- 仏法は**魔との戦い**、油断はするな
- 憎みたい者は憎むがよい
- **護法の功德**により、**転重軽受**は明らか
- **勇気**をもって**正義**を語り抜く
ことが**如説修行の実践**

正義の勇者に恐れなし
大勇の信心で**如説修行の道**を歩め